

県歴史資料保存協会 岐阜で16日、記念講演

県内の郷土史研究者らでつくる県歴史資料保存協会活動に参加する人材育成を十六日、創立四十周年を記念する講演会を岐阜市宇佐の県図書館で開く。会長

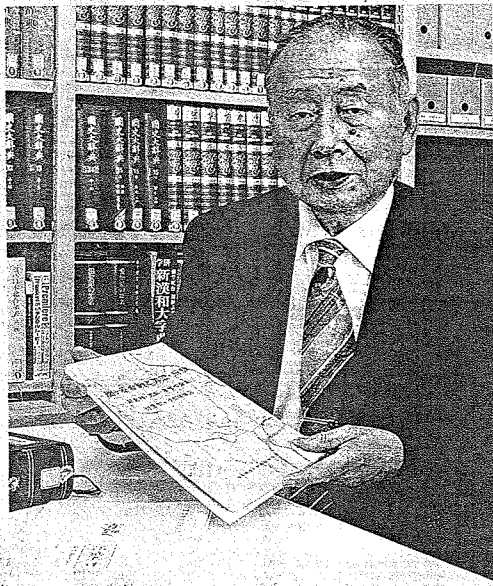
丸山幸太郎岐阜女子大教授を招き「古文書や公文書保存のためには意欲的な人材の育成が欠かせない。多くの人に関心を持ってほしい」と呼び掛けている。記念講演会は午後二時四十分から。東京都国立

同協会は一九七四年(昭和四十九)年、市町村史編纂研究連絡協議会として発足し、七九年に改称した。会員は二百六十五人で県内四十二市町村の歴史資料保存

などに携わる担当者も名を連ねる。参加無料。問い合わせは

県歴史資料館(岐阜市夕陽ヶ丘)と連携した古文書局(磯部旭弘)

古文書収集や人材育成 40周年



古文書保存の大切さを語る丸山幸太郎会長。岐阜市太郎丸の岐阜女子大で